一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、9月9日から12日まで、4日間にかけて、20人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要です。

なお、一般質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。

そこがききたい

次期市長選挙

平成26年3月執行の市長選挙出馬意志は

「立候補して審判を仰ぎたい」

秋元 良夫 議員

議員 神保市政でなければ、先行き不安定な時代を乗り越えることができないと断言したい。次期市長選挙への出馬意志は。

市長 将来への安心を約束するとともに、子供たちに、夢と希望を与えることが使命と考える。さらに気力と体力を充実させ、5期目の市長選挙に立候補し、審判を仰ぎたい。

政策マニフェストの達成率見込みは

議員 今期の市長政策マニフェストの達成率見込みは。

市長 一部達成済みを合わせると、87項目98%の予定である。

今後の行政課題は何か

議員 今後、戸田市が対処していかなければならない行政課題は。

市長 厳しい財政運営を迫られると考えるが、先手必勝の高齢者福祉対策、子育て支援のさらなる充実、「教育のまち戸田」にふさわしい教育活動の推進、継続事業の早期完了と、快適・安全な住環境の早期実現を目指す都市基盤整備、震災対策を初めとする安心・安全分野などに、スピード感をもって対応していく必要があると考える。

▲子供たちと戸田市の将来について語り合う神保市長

子育て支援充実

学童保育室の受け入れ学年の拡大を

「26年度から4年生まで拡大」

山崎 雅俊 議員

議員 学童保育の受け入れ学年を拡大すべきではないか。

こども青少年部長 市民要望も高いので、26年度から、まず4年生まで拡大したい。

議員 6年生までの拡大は、どのように考えているか。

こども青少年部長 すぐに拡大することは難しいが、4年生までの実施状況を見ながら、さまざまな課題解決を図り、27年度以降の早い時期での実施を検討したい。

議員 運営組織の改善が必要ではないか。

こども青少年部長 責任者を位置づけてないことから、組織的な体制の改善が必要であると認識している。主任指導員のような責任者を置くことなどを検討している。

▶学童保育（新曽小）

保育園待機児ゼロへの今後の対策は

議員 施設整備に対する考え方は。

こども青少年部長 保育需要を的確に把握しながら、待機児童を早期に解消するため、民設民営による保育園整備を積極的に進めていきたい。

議員 家庭保育室の利用促進を図るべきではないか。

こども青少年部長 家庭保育室利用者の負担軽減につながるような助成制度の見直しを行っていきたい。

一般質問

消防体制

新通信指令システムによる体制強化は

「災害現場到着時間の短縮を図る」

峯岸 義雄 議員

議員 26年度に完成する通信指令システム構築によるサービス向上や改良点等はあるか。

消防長 119番通報手段の多重化、災害現場到着時間の短縮、より充実した災害情報、医療情報の提供など市民への対応強化を図る。

議員 大地震などによる大規模災害発生時の対応も強化されるのか。

消防長 緊急消防援助隊等による広域的消防活動の円滑化、要援護者や119番通報集中時の対応強化など消防体制に万全を図る。

▲戸田市消防本部通信指令室

24時間使用できるAED設置を※

議員 市民がAEDを使用した応急手当で、昨年3人が助かっている。そこでAEDを24時間使用できる環境として、コンビニやファーストフード店にAEDを設置できないか。

福祉部長 コンビニ等への設置は、今後の検討課題とする。まず、公共施設に設置されているAEDの夜間使用の可能性を検討する。

議員 市内のAED設置場所が、あまり市民に伝わっていない。もっと市民に広く伝わる効果的な対策はないか。

福祉部長 県のシステムであるAEDマップを活用し、今後はAED普及カードの配布等で情報提供していく。

議員 市民の生命を守るために、24時間営業のコンビニ等にAEDを設置するよう強く要望する。

※AED（自動体外式除細動器）…心室細動を起こした人に電気ショックを与えることで、正常なリズムに戻すための医療機器。